

木曾川町連区

第19号

地域づくり協議会だより

発行日：平成28年3月1日 発行者：木曾川町連区地域づくり協議会
一宮市木曾川町内割田一の通り27（一宮市木曾川庁舎内） 電話：84-0005

ホームページ
メールアドレス

<http://138kisogawa.org>
k-chiki@orihime.ne.jp

*** 協議会設立から2年を経て ***

木曾川町連区地域づくり協議会 事務局長 川合 俊雄

木曾川町連区地域づくり協議会は、平成26年3月に設立されました。今回、初めてこの「協議会だより」を読まれる方がいるかもしれません。また、久しぶりに読んでみようかと思い、見ている方がいるかもしれません。

地域づくり協議会と言うのは、なんだろう。この組織が出来て何か変わったことがあるのかな～と思ってみえる方が大半かと思えます。改めて地域づくり協議会を、説明させていただきます。

従来の事業は、市役所からたとえば「〇〇事業の今年度予算は、これだけです。こういうふうな形で事業を行ってください。なお、残余金が出た場合は、返却をお願いします。」このように、画一的な事業スタイルでした。

そこで地域のことを良く知っている我々が、形式に拘らず自由な発想のもと事業の形式・規模の大小など自由に取捨選択し、効果的な事業が行えるよう、かつ、天候等の事由により出来なかった事業については、次年度への繰越も可能にするなど限られた事業費を、上手にコントロールできるような組織として、地域づくり協議会を設立しました。

地域づくり協議会ができたことで、毎年110万円程度の新たな特別交付金がもらえるようになりました。このことで、この2年間に新たな事業として、小学校区単位での地域防災訓練及び親子で参加・体験をしてもらう水難事故防止の着衣水泳講座を開催することができました。

さらに、平成27年8月からは、地域づくり協議会のホームページを立ち上げ、さまざまな情報提供も始めました。“「木曾川町連区」で検索”

このたよりを読まれて「私にはこんなアイデアがある」・「協議会のお手伝いをしてみたい」と考えている方はぜひご連絡ください。この地域づくり協議会は、木曾川町の皆さんがいろいろなアイデアを出し、みんなで協力しながら、『安全・安心で住みよい町』・『思いやりのある町』・そして『活気あられる町』を目指している協議会ですので、お気軽に参加して下さい。



地域防災訓練



着衣水泳講座

*** 団体紹介 ***

木曾川町連区老人クラブ連合会

会長 葛谷 凱治

老人クラブの目的は「老人クラブの普及発展を図り、広く老人福祉の推進に寄与する」と規約にある。木曾川町連区老人クラブ連合会（以下、木老連と略す）は、町内会単位で設立された単位ク

クラブ(50名~100名)が17団体集まって、連合会を組織している。会員数は平成27年4月1日現在で1199名である。

また、上部機関として一宮市老人クラブ連合会(以下、市老連と略す)がある。毎月、上旬に市老連の支部長会を開催し当面する諸問題について話し合っている。下旬には、市老連の理事会が開かれている。

年間行事として、ゲートボール大会、グランドゴルフ大会、日帰り旅行、健康づくり講演会、ことぶき作品展、三世代交流スポーツ大会、三世代交流事業、福祉大会、支部長研修会、市老連クラブ長研修会などがある。この他に通年行事として、寝たきりの人や、一人暮らしの人への友愛訪問がある。9月20日には、全国一斉に社会奉仕活動がある。

また、8月には愛知県老人クラブ連合会の福祉大会が名古屋市公会堂で開かれ、長年老人クラブの発展に寄与した人を表彰している。

こうした行事にも拘らず老人クラブの会員とクラブ数が年々減っているし、上述した行事でも、日帰り旅行、健康づくり講演会、三世代交流スポーツ大会、福祉大会は会員なら誰でも参加できるが、これも参加者が年々減っているのが、悩みの種である。

これは、高齢者なので死亡による減少と、若い人(といっても60歳以上)が入会してくれないことが主因である。最近の若い人は、それぞれに趣味(生き方)を持っている人が多く、老人会へ入らなくても生きて行けるし、老人会もマンネリ化してしまい、飽きられてしまっている。

これらを打破し明るく未来のある老人クラブを作るためには、若い人に魅力ある老人クラブを作る必要がある。そのためには何をしたら良いのか、どうしたら良いのか、今模索中である

木曽川町連区消防団

一宮市消防団木曽川北分団長 大塚 慶治

一宮市消防団は25分団で構成されています。そしてこれらを指揮する団長、団長を補佐する4名の副団長の定数593名で構成されています。

各分団に1台消防車両が配備され、管理点検はもとより実際の建物火災では管轄の1台と直近1台の2分団が出動し、消防署員とともに火災鎮圧にあたっています。消防団員は非常勤の特別職地方公務員にあたります。

木曽川町連区には木曽川北、木曽川西、木曽川東の3分団があり、それぞれ黒田、木曽川西、木曽川東小学校区を持ち場としております。管内の災害出動はもちろんですが、平時の場合でも消防啓蒙活動や消防水利(消火栓や防火井戸など)の点検等を行なっております。

警防技術発表会(6月第3日曜)、観閲式(11月第1日曜)、出初式(1月第1土曜)を開催するにあたっては、事前にポンプ車操法や実際の放水訓練を、消防署員の指導のもとに行なっております。七夕まつりに代表される地域のイベント、行事にも警戒出動、防火警備という形で微力ながらお手伝いさせていただいております。またそれぞれの地域事情により地元の祭礼や町内会の自主防災訓練、餅つき大会などに参加している分団もあります。

全国的な傾向で消防団員の高齢化と団員数の減少が進んでいます。一宮市も例外ではなく、団員数は平成28年1月1日現在516名、平均年齢は約47.1才です。

消防団に関するお問い合わせ等は “一宮市消防本部総務課消防団担当 0586-72-1193” までお気軽にお尋ね下さい。



消防出初式 分列行進